



アンケートにお答えします



Q

救急車を呼んだのに消防車も一緒に来たのはなぜですか？

(甲州市塩山下於曾 53歳男性)

A

ポンプ隊と救急隊の連携活動についてお答えします。

最寄りの消防署の救急車が出場している場合は、救急資器材を積載した消防車が出場して、救急車が到着するまでの間、応急処置を行います。

傷病者や救急隊の安全が確保できない時は、ポンプ隊も出場します。



救急現場の状況（階段・通路などが狭い等）により、救急隊のみでは傷病者を救急車へ収容することが困難な時は、ポンプ隊も出場します。

※ ポンプ (pumper) と救急車 (ambulance) 双方の頭文字から「PA連携」と呼んでいます。

Q

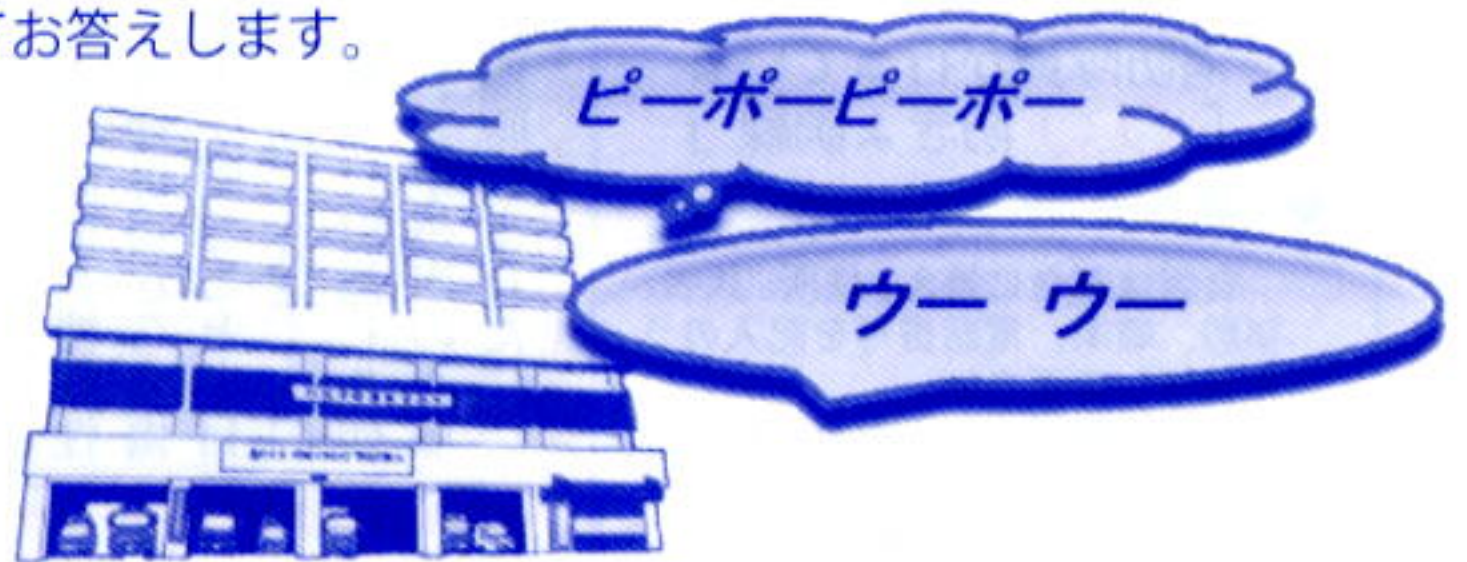
毎日同じ時間になると消防署からサイレンの音が聞こえてきますが、何をしているのでしょうか？

(山梨市上神内川 40歳女性)

A

消防車両の点検についてお答えします。

消防署では災害時に迅速に出動できるよう、毎日朝8時30分と夕方5時に車両の点検を行っています。消防車両は緊急走行を行うため、サイレンや回転灯を実際に点灯させて点検を実施していますので、ご了承ください。



◆振興課からのお知らせ◆

介護保険でいきいきとした生活を

要介護認定を更新した際、介護度がどのように変化しているか、当組合の介護認定審査会による審査・判定結果をもとに傾向を調べたところ、改善が14.9%、現状維持が49.8%、悪化が35.3%という結果になりました。

できる限り自立した暮らしができるよう介護保険等のサービスを有効に活用しましょう。

サービスの詳細につきましては市の介護担当へお問い合わせください。



		前回からの介護度変化率 単位 (%)			
		改善	現状維持	悪化	
前回の判定結果	非該当	0.0	0.0	100.0	
	要支援	1	0.4	26.8	72.7
		2	7.1	55.2	37.7
	要介護	1	25.1	36.9	38.0
		2	12.5	59.4	28.2
		3	10.4	50.3	39.3
		4	12.5	56.8	30.7
5	13.3	86.7	0.0		
計		14.9	49.8	35.3	

※ 表は平成18年度実績(判定件数2,914件)